

農地法の許可申請受付〆切日は毎月10日です。

潮来農委だより

第74号

発行者 潮来市農業委員会
編集者 広報委員会
TEL 63-1111
内線 270・272



道の駅いたこ前の花壇（農業委員会ブース）

◆ 主な内容 ◆

- ◇ 農業委員紹介…………… P. 2
- ◇ 農地利用最適化推進委員紹介、会長あいさつ…………… P. 3
- ◇ 令和元年度の目標及びその達成に向けた活動計画、他…………… P. 4
- ◇ 令和元年度農地利用実態調査の実施について、他…………… P. 5
- ◇ 農業委員会活動報告、他…………… P. 6

新しい農業委員と 農地利用最適化推進委員を紹介します

任期満了に伴い、新たに農業委員 12 名が 4 月 1 日に市長から任命を受け、また、農地利用最適化推進委員 6 名が 4 月 10 日に会長から委嘱を受け、農業委員会の新体制がスタートしました。(任期は農業委員・推進委員とも令和 4 年 3 月 31 日まで)

□農業委員□ ①住所 ②担当地区 ③所属部会・役職等 ④期数 (議席番号順)

 <p>1. 山本 一心 ①前川159 ②前川 ③農地副部長 広報委員会 ④1期</p>	 <p>2. 原 正章 ①大賀364 ②大生・大賀・ 島須(赤須) ③農政部会 広報委員会 ④1期</p>	 <p>3. 松本 清隆 ①徳島1817 ②徳島・米島・ 福島 ③農地部会 広報委員会 ④1期</p>
 <p>4. 鬼澤 淳一 ①小泉2390 ②津知(新町・後明・ 将監・江寺・貝塚・ 築地) ③農政副部長 運営委員会 ④1期</p>	 <p>5. 村山 真一 ①水原705-2 ②水原1～3区・ 釜谷 ③農地部会 運営委員会 ④1期</p>	 <p>6. 方波見 謙 ①牛堀60-1 ②牛堀・ 永山(西・東) ③農地部会 広報副委員長 ④2期</p>
 <p>7. 鵜田 美喜男 ①上戸1413 ②上戸(芝宿・台 上戸・横須賀西・ 東)・島須(宿・ 古宿) ③会長職務代理者 ④2期</p>	 <p>8. 高品 二美代 ①潮来3777-8 ②十番・十四番 ③農政部会 広報委員長 ④2期</p>	 <p>9. 宮本 孝一 ①新宮80-1 ②新宮・古高・洲崎・ 下田・宮前 ③農政部会 運営委員長 ④2期</p>
 <p>10. 宮本 三千男 ①潮来3731-48 ②潮来(西丁～七軒 丁)大洲・大塚野・ あやめ・日の出 ③農地部会長 運営委員会 ④2期</p>	 <p>11. 黒須 一夫 ①小泉南1351-2 ②須賀・曲松・小泉・ 延方(西・東) ③農政部会長 運営副委員長 ④2期</p>	 <p>12. 堀井 満 ①堀之内1305 ②堀之内・茂木・ 清水 ③会長 ④2期</p>

□農地利用最適化推進委員□ ①住所 ②担当地区 ③期数 (順不同)

 <p>1. 柄津 幸男 ①潮来704 ②潮来地区 ③2期</p>	 <p>2. 堀越 豊志 ①辻622 ②津知地区 ③1期</p>	 <p>3. 関沢 勝衛 ①延方東 1798-2 ②延方地区 ③2期</p>
 <p>4. 箕輪 清 ①大賀166 ②大生原地区 ③1期</p>	 <p>5. 薄井 登三男 ①永山910 ②香澄地区 ③2期</p>	 <p>6. 鹿取 豊造 ①上戸2223 ②八代地区 ③1期</p>

平成31年 3月31日、任期満了により次の皆さんが退任されました。長い間大変お疲れさまでした。

(農業委員) 高橋 慶治 仲田 孝 吉川吉之助
小沼 徂伸 草野登美雄

(農地利用最適化推進委員) 石井 一夫 高柳 好男
(敬称略)

ごあいさつ

潮来市農業委員会

会長 堀 井 満

盛夏の候、農家の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、潮来市農業委員会の活動に対しまして、多大なるご支援・ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

潮来市では、平成31年3月に任期満了に伴う改選が行われ、農業委員12名、農地利用最適化推進委員6名が就任し、農業委員会法改正による新体制の2期目がスタートいたしました。

このたび、委員各位からの御推薦をいただき、引き続き会長の重責を担うこととなりました。今後も潮来市農業発展のため一層職務に精励していく所存でありますのでよろしく願いいたします。

さて、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の減少や高齢化に伴う担い手不足に加え、遊休農地の増加、農地の集積・集約化等諸々の課題が山積しています。また、本市の農業は、水稻を主体とした経営が中心であり、米の価格低迷により、農村の活力が低下している現状にあります。

このような中で、私たち農業委員会は本市の農業振興を図るため、農業委員と農地利用最適化推進委員と連携を取りながら、地域農業者の代表として、担い手への農地の集積・集約化等様々な農業の問題に取り組んでまいり所存です。

つきましては、農家の皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げまして、私の御挨拶といたします。

令和元年度の目標及びその達成に向けた活動計画

農林水産省からの「農業委員会の適正な事務実施について」の通知に基づき、下記のとおり農業委員会の活動計画を策定しましたので公表いたします。

1. 担い手への農地の利用集積・集約化

現 状 (31年4月1日現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集 積 率
	2,100 ha	460 ha	21.90 %
目 標	集積面積 490 ha (うち新規集積面積 30ha)		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌等を活用し、農地中間管理事業等の周知を図る。 ・ 担い手農家を戸別訪問して農地中間管理事業の推進に努める。 ・ 関係機関と連携を取りながら農地中間管理事業を利用して利用権の設定を推進する。(9月～3月) 		

2. 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

新規参入の状況	30年度新規参入者数	新規参入者が取得した農地面積
	1 経営体	0.7 ha
目 標	1 経営体	0.5 ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携を取りながら、新規参入者の支援体制の整備を図る。 ・ 年間を通して、新規参入者に対して、情報提供、相談活動等を実施する。 	

3. 遊休農地に関する措置

現 状 (31年4月1日現在)	管内農地面積	遊休農地積面積	割 合
	2,117.7 ha	17.7 ha	0.83 %
目 標	遊休農地の解消面積 1 ha		
活動計画	農地の利用 状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期
		22人	9月～10月
	農地の利用 意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期
	11月～12月	12月～1月	

4. 違反転用への適正な対応

現 状	管内の農地面積 (A)	違反転用面積 (B)
	2,100 ha	0.3 ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 違反転用を発見次第、関係機関と連絡を取り、早期是正に努める。 ・ 広報誌等を活用して、違反転用の防止について周知を図る。 ・ 9月～10月に全地区を対象に農地パトロールを実施する。 	

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締 切 日 毎月10日
 農地農政相談日 随 時
 現地調査日 毎月18日
 総 会 日 毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

議案審査の状況を公表します。

期間：平成31年1月～令和元年6月

農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
農地法第3条 (農地のままでの権利の移転)	1件	4件	4件	2件	2件	2件
農地法第4条(自己転用)			2件			
農地法第5条 (権利の移転を伴う転用)	1件		2件		1件	4件
利用権の設定 (農業経営基盤強化促進法による)	19件	29件	75件	24件	2件	6件
農地の現況確認証明					2件	
その他		1件		1件	3件	3件

令和元年度農地利用実態調査の実施について (ご協力をお願いいたします。)

農業委員会では、平成30年度から3か年計画で農地利用実態調査を実施しています。今年度は、下記のとおり実態調査を実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

- 1 目的 全農地について、農地利用状況と今後の利用意向を調査することで実態を明らかにして、その情報を整理し、農地利用の最適化を推進する。
- 2 内容 農地所有者に対して、農地1筆ごとの現在の利用状況と今後の利用意向の確認を行う。
- 3 実施方法 農地の所有者に郵送並びに農家班長に依頼して調査票を配布し、後日、農家班長、農業委員、農地利用最適化推進委員に取りまとめをお願いする。
- 4 実施スケジュール(予定) (1) 調査票の配布 9月～10月
(2) 調査の実施 10月～12月

5 実施集落	集 落 名 (19集落)	潮来(5丁目、6丁目、7丁目、8丁目、7軒丁)、十四番、後明、江寺、須賀、曲松、小泉、延方西、延方東、釜谷、大生、永山東、永山西、芝宿、台上戸
--------	-----------------	---

- 6 平成30年度実施状況 (1) 実施集落数 16集落
(2) 調査対象戸数 735戸
(3) 調査票回収戸数 694戸(回収率 94.4%)

※平成30年度に実施した集落の農地所有者の皆様におかれましては、お忙しい中、調査に御協力を頂き誠にありがとうございました。今後、調査票の整理を行う中で、不明な点がありましたら補足調査を行いますのでその際には、御協力をお願いいたします。

農家のみなさんへ 貸したい農地ありませんか?

「農地集積バンク」茨城県農地中間管理機構を活用しましょう

農地を貸したい

- 規模縮小 ●経営転換 ●農地相続でお困りの方

メリット

- ・賃料は機構を通じて支払われ、期間が満了すれば、農地は確実に戻ります。
- ・期間満了後、継続して貸付することもできます。
- ・受け手が耕作できなくなった場合、機構が次の受け手を探します。

農地を借りたい

- 規模拡大 ●新規参入をお考えの方

メリット

- ・長期の耕作が可能となり、安定的な経営が行えます。
- ・まとまった農地の借入や、分散した農地の集約化が出来ます。

貸 付 ↓

↑ 貸 付 (転賃)

「農地集積バンク」茨城県農地中間管理機構

機構が借り受けられる農地の基準(主なもの)

- ・農業振興地域の農地であること。
- ・再生作業が困難な遊休農地でないこと。
- ・10年以上の貸付が可能であること。
- ・隣接地との境界が確定されていること。
- ・土地改良区賦課金の滞納がないこと。
- ・大型農業機械が通行可能な進入路が確保されている。

※詳しくは、潮来市産業観光課農政グループ(TEL:0299-63-1111 内線265)までお問い合わせ下さい。

農業者年金で安心して豊かな老後を!

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

国民年金第1号
被保険者

年間60日以上
農業に従事

60歳未満

- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

【お問い合わせ先】

潮来市農業委員会(TEL:0299-63-1111、内線270・272)

◆全国農業新聞◆

全国農業新聞は、農業総合専門紙です。「週刊」の時間を生かし、情報がわかりやすいように解説的にまとめられています。

全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や、地域独自のイベント情報などの提供も行っています。

農業情報が満載「全国農業新聞」で、一歩進んだ農業経営と豊かな家庭を!

発行日/毎週金曜日 購読料/月700円

お申し込みは、農業委員会へどうぞ

(☎63-1111、内線270・272)

農業委員会活動報告(前期分)

- 1月17日 農地部会
農政部会・推進委員会議
- 20日 新春賀詞交歓会(開花亭)
- 25日 農業委員会会長研修会・知事を囲む農政新春懇談会(水戸市) 1月定例総会
- 2月5日 行方地域儲かる農業推進フォーラム(レイクエコー)
- 6日 いばらき農業委員女性協議会 研修会
- 18日 農地部会
- 19日 農地利用最適化推進委員会議
- 25日 農政部会・農作業標準賃金協議会 2月定例総会
- 3月1日 農地を活かし担い手を応援する運動推進大会(小美玉市)
- 19日 農地部会
- 20日 農政部会・推進委員会議
- 25日 農業委員会行方地域協議会理事會 3月定例総会
- 4月1日 農業委員辞令交付式・初総会 臨時総会
- 10日 農地利用最適化推進委員委嘱状交付式
- 16日 農業委員会行方地域協議会定定期総会(潮来市)
- 17日 農地部会
- 18日 農政部会・推進委員会議
- 25日 4月定例総会
- 5月10日 道の駅環境整備ボランティア(ブースの植栽準備)
- 11日 あやめ園整備事業に参加
- 16日 農政部会・推進委員会議
- 17日 農地部会
- 18日 道の駅環境整備ボランティア(ブースの植栽)
- 21日 農業委員会会長・局長会議(大洗町)(21日・22日)
- 24日 農地法・農地中間管理事業研修会 5月定例総会
- 25日 水郷潮来あやめまつり大会開会式
- 27日 全国農業委員会会長大会(東京都)
- 30日 農業委員会行方地域協議会理事會 市認定農業者連絡協議会総会
- 6月4日 耕作放棄地解消事業(いも苗植え体験学習) 潮来小学校
- 14日 市農業再生協議会総会
- 17日 農地部会
- 18日 農政部会・推進委員会議
- 25日 6月定例総会
- 27日 行方地域農業改良推進協議会 通常総会(行方市)
- 28日 茨城県農業会議総会(水戸市) 常陸川水流調整対策協議会総会(神栖市)
- 7月5日 市民あやめ園整備事業
- 6日 農業委員会行方地域協議会研修会(宮城県)(8日・9日)
- 8日 農政部会・推進委員会議
- 17日 行方地域農業振興協議会定期総会(潮来市)
- 18日 農地部会
- 25日 7月定例総会

イモ苗植えを体験学習
—耕作放棄地解消事業—



農業委員会では、耕作放棄地解消事業の一環として20アールの畑を再生し、実証圃としてサツマイモの栽培を行っており、今年で7年目に入ります。今年も6月4日に、潮来小学校の一・二年生82名を招いてイモ苗植えを体験してもらいました。一年生は、初めてで、戸惑いながらも委員の助けを借りてイモ苗を植えていました。二年生は、2回目であり、慣れた手つきでイモ苗を植えてくれました。短い時間でしたが、農業体験を通していくらかでも農業に関心を持ってくれればいいなと思いました。

今回は、なめがたしおさい農業協同組合の御協力を頂き資材(肥料)を提供していただきました。ありがとうございました。

編集後記

今年5月に、「令和」という新しい時代になりました。気分も晴れやかに思っていたところ5月末はとにかく例年になく暑かったですね。梅雨にも入っていないのに梅雨明けを連想させるくらい暑い暑さでした。6月中旬頃から朝夕さむく感じる事さえあり、稲の伸びが遅いと思っていました。この頃は良い色になって見渡す限り青々とした景気が気持ちいいほどになりました。

一方で、遊休農地も所々に見受けられます。農業委員、農地利用最適化推進委員のメンバーも代わり新しい人が入ってきました。気軽に地域の方の相談にのれる様、皆で力を合わせて遊休農地が少しでも減る様にしてきたいと思っております。地域の皆様のご協力の程よろしく願います。

また、道の駅いたこの前の花壇の花が今年も綺麗に咲いています。散歩がてらに、ぜひ見に来て下さい。

広報委員長 高品 二美代

広報委員会

- 委員長 高品 二美代
- 副委員長 方波見 謙
- 委員 原 正章
- 委員 山本 一心
- 委員 松本 清隆